



田中民市さん95歳(たなか・たみいち)ハンセン病国家賠償訴訟西

日本原告団長) 9日、前立腺がんのため死去。葬儀・告別式は営まず、支援者らが12月14日に国立ハンセン病療養所「星塚敬愛園」(鹿児島県鹿屋市)で「しのぶ会」を予定している。

宮崎県日南市出身。1941年に23歳で星塚敬愛園に入所、在園は72年間に及んだ。98年、国の強制隔離政策を違憲と訴え、原告第1号として熊本地裁に提訴。2001年に全面勝訴を勝ち取った。

田中 民市氏(たなか・たみいち)元ハンセン病国家賠償請求訴訟・西日本訴訟原告団長) 9日午前6時11分、前立腺がんのため、鹿児島県鹿屋市の星塚敬愛園で死去、95歳。宮崎県出身。遺族や入所者らでお別れ会を行った。

### ハンセン病訴訟元原告団長 田中民市さん死去



小泉純一郎首相が控訴断念を決め、判決が確定した。判決時から、60年間使わなかった本名を名乗った。

ハンセン病国家賠償訴訟の元原告団長、田中民市(たなか・たみいち)さんが9日、死去した。95歳だった。入所していた鹿児島県鹿屋市の国立療養所・星塚敬愛園で、入所者や職員らが同日午前9時から「お別れの会」を開いた。宮崎県日南市出身。1941年に自ら敬愛園に入った。98年7月、ハンセン病国家賠償請求訴訟を熊本地裁に起こし、「原告番号1番」の原告団長を務めた。2001年5月の地裁判決は、国のハンセン病患者隔離政策を違法と初判断。当時の